



学力向上を図るための調査結果のお知らせ

今年度の学力調査における評価の観点別結果および教科全体結果をお知らせするとともに、課題・改善策を検討しました。今後は調査結果をもとに、授業改善プランを作成し、それを基に授業を推進してまいります。(授業改善プラン全体計画は、学校のホームページに掲載する予定です。そちらもご覧ください。)

調査対象学年の皆様には、担任より返却されている個票等もご覧いただき、お子様の学習状況や復習するポイントをご確認いただければ幸いです。また、調査対象学年ではない皆様におかれましては、2つの調査は、その多くが当該学年の学習内容より前の学年の問題が多く出題されています。学年だよりで報告される学習の予定やお子様のノート、ワークテストの状況などをご確認いただき、重点となる学習内容や今後の学習の仕方の参考にしていただければと考えます。12月には個人面談もごさいます。学校と家庭が南田中の子供たち学力向上のために力を合わせていきたいと存じます。ご支援・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

1 6年生 全国学力・学習状況調査(4月21日実施)

(1) 国語

ア 知識

| | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 国語全体 |
|------|---------|------|------|-----------------|------|
| 南田中小 | 69.2 | 78.8 | 61.1 | 75.0 | 70.6 |
| 東京都 | 57.4 | 87.7 | 59.0 | 78.6 | 72.3 |
| 全国 | 53.0 | 86.0 | 55.2 | 77.2 | 70.0 |

「話す・聞く能力」「読む能力は、都や全国の平均値を上回った。「書く能力」、「言語についての知識・理解・技能」の2つの観点は、都や全国の平均値を下回り、国語全体としては、全国の平均値は上回り、都の平均値を下回った。

漢字を正しく読んだり書いたりする問題、文中における主語を捉える問題、具体的な事例を挙げて説明文を書く問題、新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える問題に課題が見られる。

漢字の読み書きなど基礎基本の定着に向けた指導を継続することが大事です。次の点を意識して、授業改善に努めてまいります。

○漢字を読んだり書いたりする機会を意図的・計画的に設定する。

○国語辞典や漢字辞典の利用を習慣付けする。

○文中の主語と述語、修飾と被修飾の関係を意識して文章を書く。

○書く目的を明確にして書くこと、出典を明示して文を引用することを意識付けていく。

ご家庭でも、本やテレビ番組等が出てきた言葉を調べたり、確認したりする機会を意図的に作っていただければ幸いです。また、文を書く際に、主語がはっきりしているかを見ていただけると助かります。文を書く際には、著作権を尊重し保護することも重要です。

イ 活用

| | 関心・意欲・態度 | 書く能力 | 読む能力 | 国語全体 |
|------|----------|------|------|------|
| 南田中小 | 57.7 | 63.5 | 71.8 | 67.5 |
| 東京都 | 55.7 | 62.2 | 68.6 | 66.5 |
| 全国 | 55.4 | 61.1 | 68.1 | 65.4 |

全ての観点で都や全国の平均値を上回った。国語全体としても、都や全国の平均値を上回った。

目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする問題、目的や意図に応じ取材した内容を整理しな

から記事を書く問題、登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える問題に課題が見られる。

授業改善の視点は、次のとおりです。

- 新聞の特徴を理解し、目的や意図に応じて紙面構成や見出しを付ける。
- 目的や意図に応じて、取材した複数の内容を整理して記事を書く。
- 登場人物の行動や会話、情景を基にして場面の移り変わりを捉える。

ご家庭でも、何かをする前にレイアウトや完成図等をイメージさせてから活動をさせたり、いくつかの情報をまとめて書いたりすることを意図的に行っていただければ幸いです。また、読書の習慣を引き続き養っていただけるよう学校と家庭で協力できればと考えております。

(2) 算数

ア 知識

| | 数学的な考え方 | 数量や図形についての技能 | 数量や図形についての知識・理解 | 算数全体 |
|------|---------|--------------|-----------------|------|
| 南田中小 | | 75.5 | 75.2 | 75.4 |
| 東京都 | | 78.2 | 76.8 | 77.4 |
| 全国 | | 77.2 | 73.6 | 75.2 |

「数量や図形についての技能」については、都や全国の平均値を下回った。「数量の図形についての知識・理解」と算数科全体としては、全国の平均値を上回ったが、都の平均値は下回った。

計算領域（主に「計算の仕方と結果についての判断、四則計算」）に関する問題、日常生活の中で必要となる時刻を求める問題、円や三角形の性質

から正解を導き出す問題、式に表現された数量関係を図と関連付けて理解する問題に課題が見られる。

四則計算については、反復して習得・習熟していくよう指導を重ねてまいります。また、東京方式「ベーシック・ドリル」等を活用するとともに、少人数指導や習熟度別指導をとおして、指導を充実させていきます。次の視点を意識して、授業改善に努めてまいります。

- 場面や状況に応じて、計算の結果を適切に見積もることができるようにする。
- 条件を整理して時刻や時間を求めることができるようにする。
- 線分図などを用いて時刻と時間の関係を視覚的に捉えることができるようにする。
- 図形の性質を基に、角の大きさや辺の長さを求めることができるようにする。
- 数量関係を式にしたり、式に表せたことを図と関連させて読み取ったりできるようにする。

ご家庭では、何かをする際に、「だいたい」「おおよそ」の結果や程度を想像させた上で取り組ませるようお声かけいただければ幸いです。時刻と時間に関しては、その意味を区別して使用していく環境づくりも大切です。家庭学習をご一緒される際には、図や表を用いて説明いただけると児童の理解も高まるものと考えます。また、児童から、身の回りの事物の様子などの話を聞く際には、種類、大きさや長さ、その特徴などをイメージさせながら聞いていただけると幸いです。

イ 活用

| | 数学的な考え方 | 数量や図形についての技能 | 数量や図形についての知識・理解 | 算数全体 |
|------|---------|--------------|-----------------|------|
| 南田中小 | 42.9 | 63.5 | 72.1 | 50.6 |
| 東京都 | 38.6 | 60.7 | 76.2 | 47.8 |
| 全国 | 35.3 | 58.7 | 74.9 | 45.0 |

「数学的な考え方」「数量や図形についての技能」については、都や全国の平均を上回った。「数量や図形についての知識・理解」は、都や全国を下回った。算数科全体としては、都や全国の平均値を上回った。

作図する際の図形の約束や性質の理解に関する問題、概数を用いた見積もりの結果とそれに基づ

く判断を理解し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題、長方形の面積を2等分する考えを基に、二つの図形の面積が等しくなる理由を、言葉や数、記号を用いて記述する問題に課題が見られる。

次の点を留意して授業改善に努めてまいります。

○作図の操作と図形の性質を関連付けて、図形の約束や性質について理解できるようにする。

○見積もり方や見積もりの結果や示された考えを基に、根拠となる事柄を過不足なく説明することができる。

ご家庭でも、「結果の根拠は何か」を意識して聞いたり、話なさせたり、書かせたりする機会を増やしていただければ幸いです。

(3) 理科

| | 科学的な 思考・表現 | 観察・実験 の技能 | 自然事象 についての 知識・理 解 | 理科 全体 |
|------|---------------|--------------|----------------------------|----------|
| 南田中小 | 60.6 | 56.5 | 62.5 | 60.1 |
| 東京都 | 62.4 | 57.1 | 69.0 | 62.4 |
| 全国 | 60.5 | 55.5 | 68.6 | 60.8 |

「科学的な思考・表現」と「観察・実験の技能」は、都の平均値を下回ったが、全国の平均値は上回った。また、「自然事象についての知識・理解」は、都や全国とも平均値を下回った。理科全体としては、都や全国の平均値を下回った。

エネルギーに関する問題で事象の変化について、グラフを基に考察して分析した内容を記述する問題、事象について、思考した結果を基に自分の考えを改善できるかを問う問題、生命に関する問題（メダカの雄雌の見分け方の理解、生物の成長に必要な養分の取り方に関する実験結果の考察・分析、植物の成長と条件に関する記述）、粒子に関する問題（予想が一致した場に見通して実験の構想、メスシリンダーの名称とその扱い）、地球に関する問題（方位、月の見え方、星の動き方、蒸発に関する知識・理解）に課題が見られる。

次の点を留意して授業改善に努めてまいります。

○事実と解釈したことを示して判断の根拠や理由を説明できるようにする。

○事物の条件に着目し、ものの仕組みや性質、働きを捉えるようにする。

○観察・実験の仕方、器具の操作方法を確実に身に付けるようにする。

○学習した知識を実際に当てはめたり、関係付けて説明したりするようにする。

○観察・実験の際には、結果を見通した計画、時系列での記録、結果の分析・考察ができるようにし、証拠に基づいた結論が導き出せるなど問題解決の学習の仕方を身に付けることができるようにする。

ご家庭では、学校の学習の様子を確認していただき、どうしてそのような結果になったのか、どんな道具や器具を使って実験をしたのかなど、お子様の話を聞いていただければ幸いです。また、学んだことが日常生活の中でどのように活用されているのかなど子供の関心が広がるような機会やきっかけなどを作っていただけると子供の理解もさらに深まると考えます。

2 5年生 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果（7月2日実施）

(1) 教科の内容

| | 関心・意欲・態度 | | 思考・判断・表現 (国語：聞く・話す) | | 技能 (国語：書く) | | 知識・理解 (国語：言語) | | (国語：読む) | |
|----|----------|------|------------------------|------|---------------|------|------------------|------|---------|------|
| | 南田中小 | 東京都 | 南田中小 | 東京都 | 南田中小 | 東京都 | 南田中小 | 東京都 | 南田中小 | 東京都 |
| 国語 | 83.0 | 88.8 | 73.1 | 74.2 | 63.5 | 60.8 | 60.9 | 61.3 | 68.6 | 63.2 |
| 社会 | 89.6 | 89.1 | 64.2 | 59.9 | 74.3 | 67.7 | 50.9 | 44.3 | | |
| 算数 | 76.4 | 80.2 | 62.3 | 59.9 | 71.7 | 68.5 | 73.0 | 69.5 | | |
| 理科 | 90.6 | 92.0 | 63.2 | 58.9 | 77.0 | 72.0 | 77.7 | 73.2 | | |

各教科の評価の観点別に状況を確認した。

国語では、「書く能力」「読む能力」は、都平均を上回った。「関心・意欲・態度」「聞く・話す能力」「言語に関する知識・理解」は都平均を下回った。漢字を読む問題（言語）、物語文を読解する問題（読む能力）、報告する文章を書くための問題（書く能力）に課題が見られた。

社会では、全ての観点で都平均を上回った。その中で、水道の水の使用量のグラフを読み取る問題（観察・資料活用の技能）、水道水が送られる経路にある施設名を問う問題（社会的事象についての知識・理解）、浄水場の目的、仕組みから考える問題（社会的な思考・判断・表現）、東京都の区市町村名や都道府県名に関する問題（知識・理解）、東京都の特色や土地利用に関する問題（知識・理解）に課題が見られた。

算数では、「関心・意欲・態度」以外の観点で都平均を上回った。表した式を基に計算の仕方に関する問題（知識・理解）、面積の求め方を考えるために図に表したものから、その考え方を表現する問題（数学的な考え方）、複合図形の面積を求める問題（数量や図形についての技能）、図形の特徴を問う問題（知識・理解）、展開図に関する問題（数学的な考え方）、計算のきまりを導き出す問題（数学的な考え方）に課題が見られた。

理科では、「技能」「知識・理解」は都平均を上回った。その反面、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」は都平均を下回った。実験結果を基に考える問題（科学的な思考・表現）、太陽の位置と影のでき方から観察結果を考える問題（科学的な思考・表現）、磁石の性質を問う問題（知識・理解）、気温の変化を示すグラフを読み取る問題（科学的な思考・表現）に課題が見られた。

（2）読み解く力に関する内容

| | 取り出す力 | | 読み取る力 | | 解決する力 | |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 南田中小 | 東京都 | 南田中小 | 東京都 | 南田中小 | 東京都 |
| 国語 | 62.3 | 54.9 | 9.4 | 6.0 | 43.4 | 37.8 |
| 社会 | 61.3 | 57.2 | 50.9 | 52.4 | 36.8 | 32.6 |
| 算数 | 82.1 | 73.9 | 35.8 | 24.2 | 47.2 | 37.9 |
| 理科 | 60.4 | 59.9 | 59.4 | 55.5 | 60.4 | 55.8 |

社会の「読み取る力」を除いて、都平均を上回った。

その中でも、**国語では**、説明文を読解する問題（情報を比較し関連付けて読み取る力、意図や背景、理由を理解、解釈して推論して解決する力）に課題が見られた。

社会では、地域の伝統や文化に関する問題（比較・関連付けて読み取る力、意図や背景、理由・解釈・推論して解決する力）などに課題が見られました。

算数では、2つの数の関係を示した図と計算式を読み取り、解決する問題（比較・関連付けて読み取る力、意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力）などに課題が見られました。

理科では、2つの実験結果から考えたり、そこから得た知識を新たな実験に活用する方法を考えたりする問題（比較・関連付けて読み取る力、意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力）に課題が見られました。

全体的には、「学ぶ楽しさ」など学習への意欲を高め、基礎基本を粘り強く丁寧に指導を重ねていく必要があります。

国語では、漢字の習得、読書、目的に応じた書く活動が授業改善の視点となります。

社会では、地名や地図帳の活用、資料の読み取りをより一層意識する必要があると考えています。

算数では、計算問題の反復とともに、図形領域や数量関係に関する指導を充実させてまいります。そのためにも、児童の実態に応じる習熟度別指導や少人数指導を推進していくことを指導の重点とします。

理科では、仮説を立て、必要な情報を取捨選択しながら判断し、その結果を適切にまとめるという問題解決的な学習の仕方を定着し、科学的な思考力の向上に努めていきます。